

図2※ 北海道駒ヶ岳 最近の火山活動経過図（1995年1月～2007年9月）↑印は噴火
 ・昭和4年火口では2003年9月以降10～50m程度の噴気が時々観測されています。
 ・昭和4年火口の火口温度は、2002年以降緩やかな上昇傾向が認められていましたが、2006年秋頃からはほぼ横ばいの状況が続いています。

1) 赤外放射温度計は、物体が放射する赤外線を感じて温度や温度分布を測定する計器です。熱源から離れた場所から測定できる利点がありますが、測定距離や大気等の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合があります。

表 1 北海道駒ヶ岳 地震・微動の月回数（A点：図3のKOMA、剣ヶ峯東：KGMH）

2006～2007年	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
A点地震回数	0	3	0	0	0	1	0	0	0	1	1	0
剣ヶ峯東地震回数	11	25	3	2	1	4	1	2	0	3	4	1
A点微動回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

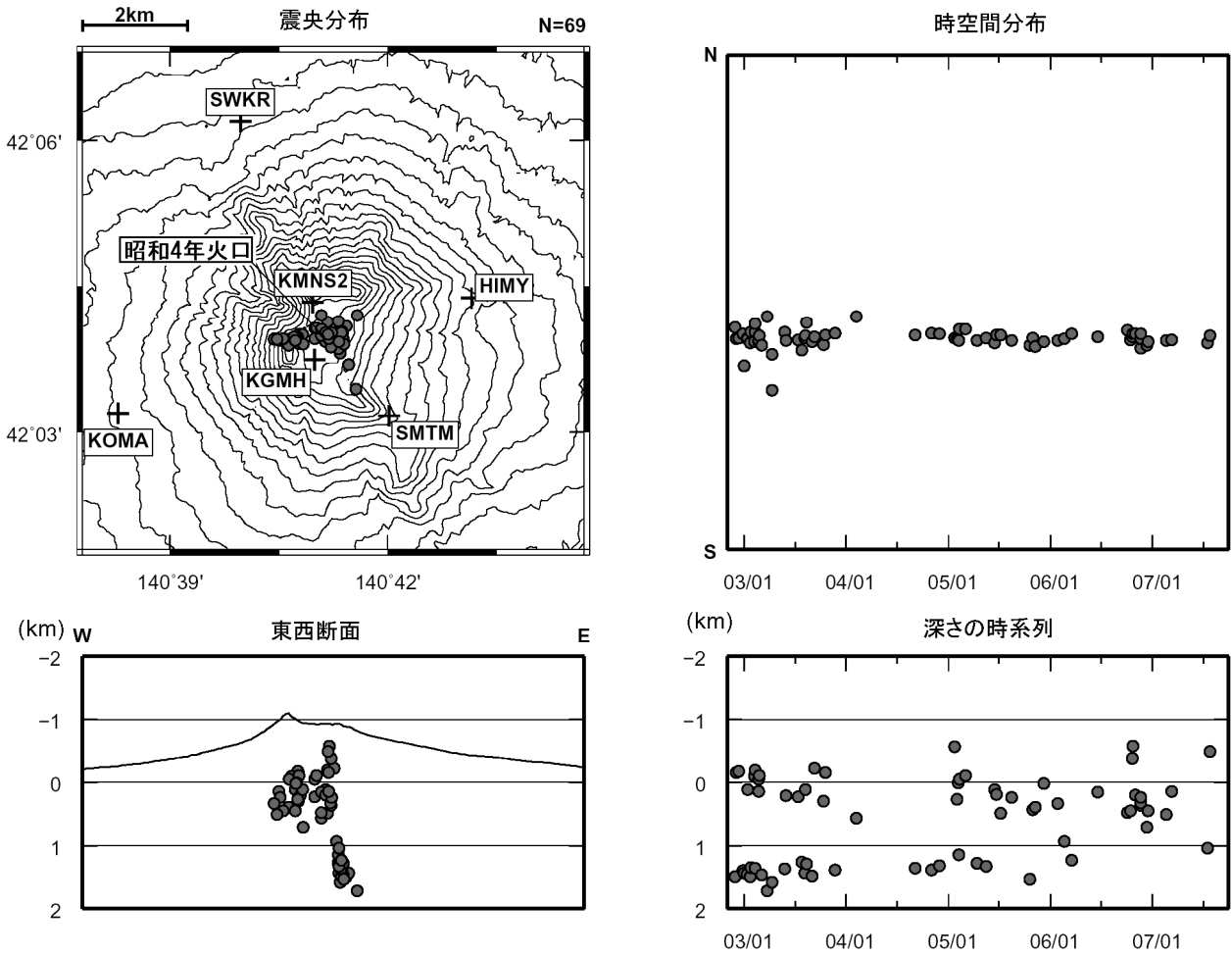


図 3 北海道駒ヶ岳の震源分布図（2002 年 11 月～2007 年 9 月、+は地震観測点）

●印は 2003 年 1 月～2007 年 8 月の震源

- ・これまでに求まった震源は山頂火口原直下の浅い所（山頂から深さ約 1～3km 付近）に分布しています。今期間に求まった震源はありませんでした。

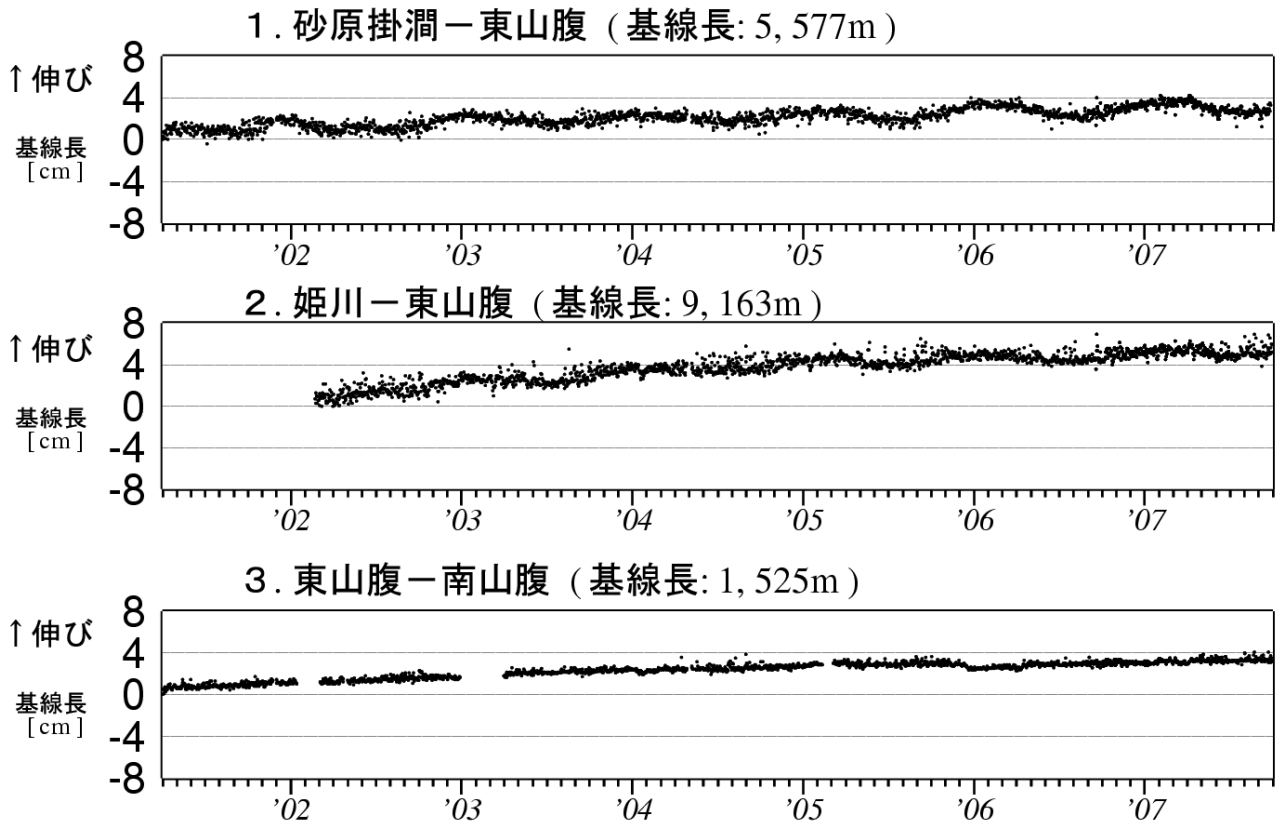


図4 北海道駒ヶ岳 GPS連続観測による基線長変化（2001年4月～2007年9月）

グラフの空白部分は欠測

- ・GPS連続観測では季節変動の影響も見られますが、わずかな山体膨張を示す基線長の伸びの傾向が引き続き認められています。
- ・図4の1～3は、図5のGPS基線①～③に対応しています。

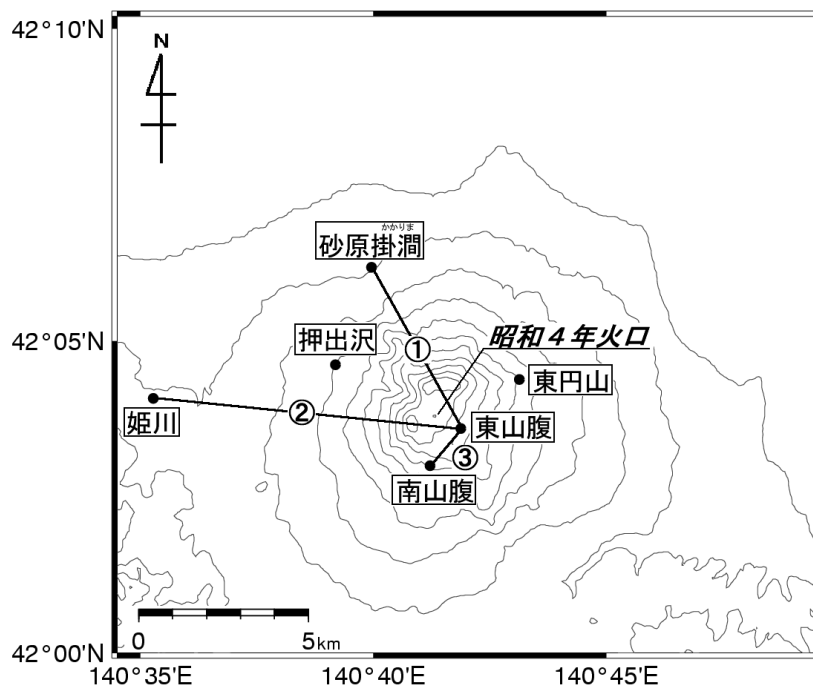


図5 北海道駒ヶ岳 GPS連続観測点配置図